

目次

[概要](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[表記法](#)

[Cisco IOS ソフトウェアの選択](#)

[Cisco IOS ソフトウェアのインストール](#)

[Cisco IOS ソフトウェアの回復](#)

[マイクロコードのアップグレード](#)

[関連情報](#)

概要

この文書では、Cisco 12000 シリーズ インターネット ルータのソフトウェア アーキテクチャの概要を説明します。

前提条件

要件

このドキュメントの読者は次の項目に関する知識が必要です。

- [Cisco IOS ソフトウェア リリースの選択方法](#)

使用するコンポーネント

このドキュメントの情報は、次のハードウェアに基づいています。

- Cisco 12000 シリーズ インターネット ルータ

このドキュメントの情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されたものです。このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、クリアな（デフォルト）設定で作業を開始しています。ネットワークが稼働中の場合は、コマンドが及ぼす潜在的な影響を十分に理解しておく必要があります。

表記法

ドキュメント表記の詳細は、『[シスコ テクニカル ティップスの表記法](#)』を参照してください。

Cisco IOS ソフトウェアの選択

機能によっては、Cisco IOS[®] ソフトウェア リリース 11.2GS、12.0S 必要とします、または 12.0ST は Cisco 12000 シリーズ インターネット ルータでインストールすることができます。必

要とする機能、取り付けられているハードウェアのパーツ、使用可能なメモリ量などを基準として選択してください。

Cisco IOS ソフトウェア リリース 12.0S は、Cisco IOS ソフトウェア 12.0 のメイン ラインから直接引き継がれたバージョンです。それがインターネットサービスプロバイダー (ISP) コミュニティによって必要な機能、パフォーマンスおよびプラットフォームサポートの組み合わせを提供します。Cisco IOS ソフトウェア リリース 12.0S は Cisco IOS ソフトウェア リリース 11.1cc へフォローアップ リリースです。『[Cisco IOS ソフトウェア リリース 12.0S Early Deployment \(ED \) リリースの要約](#)』を参照してください。

Cisco IOS ソフトウェア リリース 12.0st は 12.0S から引っ張られ、新技術サポートを提供します。12.0ST の駆動ファクタはマルチプロトコル ラベル スイッチング (MPLS) /Virtual プライベート ネットワーク (VPN)、ラベル配布プロトコル (LDP) です、ファーストは、ハイ アベイラビリティ再ルーティングし。たとえば 12.0(16)ST では、12000 ルータ 6xCT3 ラインカード (LC) 向けの MPLS-VPN のサポートの他、MPLS-VPN のサポート、VLAN から MPLS VPN のマッピング、3xGE ラインカードでの IP Type of Service (ToS; サービス タイプ) /MPLS Class of Service (CoS; サービス クラス) ビットへの VLAN の「P」ビットのマッピングが導入されています。

注：

- Cisco IOS ソフトウェア リリース 12.0(16)S1 または 12.0(16)S2 のようなリリースはメンテナンスイメージで機能セットにバグ修正が含まれています。たとえば、Cisco IOS ソフトウェア リリース 12.0(19)S2 は 19S1 の上位セットであり、19S3 は 19S2 のスーパーセット、等です。従って、Cisco IOS ソフトウェア リリース 12.0(16)S4 で統合不具合は Cisco IOS ソフトウェア リリース 12.0(17)S で統合またはこれらのイメージ以来の 12.0(18)S は Cisco IOS ソフトウェア リリース 12.0(16)S4 の前にリリースされました。ただし、Cisco IOS ソフトウェア リリース 12.0(16)S4 の修正は 12.0S 主要なリリースに再び結局統合。
- 12.0(22)S/ST からように、ST トレインは S トレインに組み込まれ、ST トレインでサポートされたすべての機能は S トレインでサポートされます。したがって、Cisco 12000 シリーズ インターネット ルータ用のリリース群は、12.0S 群だけになります。

インストールする Cisco IOS ソフトウェアを決定する参照ガイドとしては、次のリリース ノートを参照してください。これらの資料では、各 Cisco IOS ソフトウェア リリースでサポートされている機能やハードウェア コンポーネントについて、詳細に説明されています。

- [Cisco IOS ソフトウェア リリース 11.2GS のリリース ノート](#)
- [Cisco IOS ソフトウェア リリース 12.0S のリリース ノート](#)
- [Cisco IOS ソフトウェア リリース 12.0ST のリリース ノート](#)

適切な Cisco IOS ソフトウェア リリースの選択には、[Software Advisor ツール](#) ([登録ユーザのみ](#)) が役に立ちます。ソフトウェア アドバイザの使用時に競合する問題が発生した場合は、リリース ノートを参照することを推奨します。

[Cisco IOS ソフトウェアのインストール](#)

インストールするソフトウェア リリースを決定したら、シスコの Web サイトからそのイメージをダウンロードします。すべてのイメージは[ダウンロード ソフトウェア エリア](#) ([登録ユーザのみ](#)) で登録 ユーザに利用できます。[ガイドライン](#)、「[Cisco 12000 シリーズのソフトウェアのインストールとアップグレード手順](#)」を参照してください。

Cisco IOS ソフトウェアの回復

Cisco IOS ソフトウェアのインストール時またはアップグレード時に問題が発生した場合、回復を行うためのトラブルシューティング手順については、「Cisco 12000 シリーズの ROMmon モードからの回復手順」を参照してください。

マイクロコードのアップグレード

Cisco IOS ソフトウェアのアップグレード後、ラインカードの ROM モニタまたはファブリックダウンローダの警告メッセージが表示される場合、これを消すにはラインカードのマイクロコードをアップグレードする必要があります。この方法については、「Cisco 12000 シリーズ インターネット ルータのラインカード ファームウェアのアップグレード」を参照してください。

関連情報

- [Cisco 12000 シリーズ インターネット ルータのアーキテクチャ : シャーシ](#)
- [Cisco 12000 シリーズ インターネット ルータのアーキテクチャ - スイッチ ファブリック](#)
- [Cisco 12000 シリーズ インターネット ルータのアーキテクチャ : ルート プロセッサ](#)
- [Cisco 12000 シリーズ インターネット ルータのアーキテクチャ : ラインカードの設計](#)
- [Cisco 12000 シリーズ インターネット ルータのアーキテクチャ : メモリの詳細](#)
- [Cisco 12000 シリーズ インターネット ルータのアーキテクチャ : メンテナンス バス、電源とブローア、およびアラームカード](#)
- [Cisco 12000 シリーズ インターネット ルータのアーキテクチャ - パケット交換](#)
- [Cisco Express Forwarding について](#)
- [Cisco IOS ソフトウェア](#)
- [テクニカルサポートとドキュメント - Cisco Systems](#)